



EOS Aqua

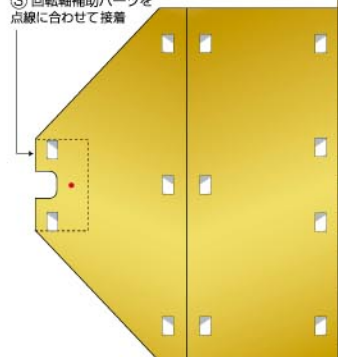
Earth Observing System (EOS) Aquaは米航空宇宙局(NASA: <http://www.nasa.gov/>)が日本、ブラジルとの国際協力のもとに2002年4月打上げを予定している地球観測衛星で、NASAが開発した大気赤外サウンダ(AIRS)、高性能マイクロサウンダ(AMSU)、雲・地表放射エネルギー測定センサ(CERES)、中分解能撮像分光放射計(MODIS)、ブラジル国立宇宙研究所(INPE: <http://www.inpe.br/>)のマイクロ波水蒸気サウンダ(HSB)、そして宇宙開発事業団(NASDA: <http://www.nasda.go.jp/>)が開発した改良型高性能マイクロ波放射計(AMSR-E)の6種類の地球観測センサを搭載しています。EOS Aquaは高度約705km、周期約100分の太陽同期準回帰軌道で地球を周回する事により、1日でほぼ地球全球の観測を行います。観測されたデータは、天気予報の精度向上、地球規模の水やエネルギーの循環の研究、地球環境変化の監視、災害監視等に役立てられます。

改良型高性能マイクロ波放射計(AMSR-E)

AMSR-EはNASDAが2002年秋に打上げを予定している環境観測技術衛星(ADEOS-II)に搭載される高性能マイクロ波放射計(AMSR)とほぼ同等の地球観測センサで、地球から放射されるマイクロ波を観測する事により海面温度、海上風速、海水密度、水蒸気量、降水量、雲水量、積雪量、土壌水分量を計測します。マイクロ波で観測する利点は、昼夜の別、雲の有無に左右されずに1日24時間観測が可能である点にあります。AMSR-Eが取得したデータは約100分毎にAqua衛星からアラスカまたはノルウェーのNASA地上受信局に送信され、オンラインでNASDAの地球観測センター(埼玉県鳩山町; EOC: <http://www.eoc.nasda.go.jp/>)に伝送されます。EOCでは、観測データを処理し、輝度温度や物理量のプロダクトを作成します。生成されたプロダクトは、その精度が確認された後、研究機関やデータ利用者に配布されます。午前軌道に投入されるAMSRと午後軌道に投入されるAMSR-Eを並行運用する事により、1日より短い時間内での地球規模の水やエネルギーの循環を追うデータを取得できるものと期待されています。

①Solar Battery Paddle (太陽電池パドル)

この部分に、
③回転軸補助パーツを
点線に合わせて接着

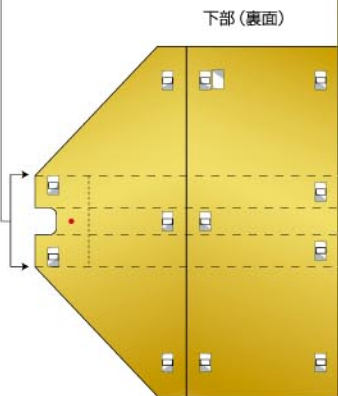


※組み立て説明書をお読みになってから、
制作される事をおすすめします。

◆ご注意

矢印部分に、定規を当てて
カッターナイフを、軽く
なぞる様に当ててください。
シャープに、折り曲げやすくな
ります。力を入れ過ぎると
切り離れてしまいます。

矢印の範囲の-----点線は、
パーツ②の軸受けを、接着する
場所です。折りケイは入れない
てください。



♥ワンポイント・アドバイス♥

接着剤は、スプレー式の糊を使用し
ますと表面が美しく、制作できます。

※真中の折りケイで、内側に折り曲げて
上部と下部を、ピッタリと貼り合わせ
てください。

